

- 問1 図書館、消防署、市役所といった公共施設は、どのような場所に建てられることが多いですか。
- 問2 地域の人々が利用するために、市が運営している施設を何といいますか。
- 問3 地図上で「開いた本」の形をしている地図記号は、何という施設を表していますか。
- 問4 地図の上で、建物や場所の種類を一目でわかるようにした記号のことを何といいますか。
- 問5 海の近くの平らな土地に、港や工場が多くつくられるのはなぜでしょうか。
- 問6 地図にある「方位記号（ほういきごう）」は、何のために使われるでしょう。
- 問7 みんなが安全で快適に暮らすために、市や町などが作っている「図書館」や「消防署」のような施設のことを何といいますか。
- 問8 市が図書館や公民館などの公共施設をつくって運営している、一番の理由は何ですか。
- 問9 地図上で、北と東の間の方角を何と呼ぶでしょうか。
- 問10 海の近くの土地は、どのような施設が集まって産業の拠点（中心）になることが多いでしょうか。
- 問11 地図で、北・南・東・西の4つの方向のことをまとめて何というでしょう。
- 問12 地図の中で、その場所にある建物や施設の種類を一目でわかるように、簡単な形であらわしたものを何といいますか。
- 問13 北を向いてまっすぐ立ったとき、右手の方向にあたるのはどの方角でしょうか。
- 問14 地図の上側が北になるように置いたとき、地図の右側が指している方位はどこでしょう。
- 問15 私たちが普段使っている地図では、上の方をどの方角として表すという約束がありますか。
- 問16 地図を見るとき約束として、地図の上の方向はどの方角を指しているのでしょうか。

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え みんなが利用しやすい駅の近くや人の集まる場所	公共施設は多くの市民が生活を送る中で、必要な時にすぐ利用できるよう、アクセスの良い場所や人が集まりやすい場所に設置されています。
問2	答え 公共施設	公共施設は、市民みんなで利用するために市が運営している施設のことです。学校や図書館、公民館などが含まれ、市民みんなの大切な財産として、生活を支える役割を担っています。
問3	答え 図書館	図書館は本がたくさんある場所であることから、開いた本の形をした記号が使われています。このように、地図記号はその施設の特徴を表す形になっていることが多いです。
問4	答え 地図記号	地図記号は、建物や土地の様子などの種類を、地図の上の約束ごととして表したものです。これを知っていると、実際にその場所に行かなくても、地図を見るだけでどのような場所なのかをすぐに知ることができます。
問5	答え 船を使って、材料や製品を運ぶのに便利だから	港があれば大きな船を接岸できるため、海外から材料を安くたくさん運んだり、完成した製品を遠くへ出荷したりするのにとても適しています。そのため、港のすぐ近くには、材料を使ってものづくりをする工場が集まることが一般的です。
問6	答え 東西南北（とうざいなんぼく）の向きをたしかめるため	方位記号は、地図の上がどちらの方角（基本は北）を指しているかを示す記号です。これを確認することで、地図の中で正しい東西南北の向きを知ることができます。
問7	答え 公共施設	地域みんなが使うために作られた施設を公共施設といいます。図書館や消防署、市役所などは、住んでいる人全員が便利に利用できるように作られています。
問8	答え 市民がみんなで利用して、生活を豊かにするため	公共施設は、市民が健康に過ごしたり、知識を深めたり、地域の人たちと交流したりするために市がつくっています。これらは誰か一人の持ち物ではなく、市民みんなの財産として、私たちの生活を支えています。
問9	答え 北東	基本となる北・東・西・南の四つの方角だけでなく、その中間の方向を指す言葉もあります。北と東の間は「北東」、北と西の間は「北西」、南と東の間は「南東」、南と西の間は「南西」と呼びます。
問10	答え 港と工場	海に面した平らな場所は、船の出入りに便利な「港」をつくるのに最適です。また、その港で受け取った材料ですぐに製品をつくり、すぐに船で運べるように、港のすぐ隣に「工場」が建てられることが多くあります。
問11	答え 四方位	北・南・東・西の4つの方向を「四方位（しほうい）」といいます。地図では、上が北、下が南、右が東、左が西になるのが基本です。
問12	答え 地図記号	地図記号は、地図を読みやすくするために、学校や神社、田んぼなどの建物や土地の様子を短い記号であらわしたものです。これを使うことで、実際にその場所へ行かなくても、地図を見るだけでどんな施設があるのかを知ることができます。
問13	答え 東	北を向いて立ったとき、自分の右側は東の方角になります。逆に左側は西、背中側は南にあたります。方位を知ること、自分がどちらに向かって歩いているかを確認することができます。
問14	答え 東	一般的な地図では、上が「北」となります。その場合、下は「南」、右は「東」、左は「西」と決まっています。この約束を知っておくと、地図を見たときにどの方向に何があるかを迷わずに読み取ることができます。
問15	答え 北	地図には、誰が見ても方角がわかるように「上を北にする」という共通の決まりがあります。このルールのおかげで、地図を使う人全員が同じ方向を北として読み取ることができます。
問16	答え 北	地図は、世界共通の約束として上側を「北」と決めています。北を上にする、右側が東、左側が西、下側が南というように、方位が分かりやすくなります。

小3社会 地域の様子と地図の学習
(書き取り) No.2

月 日 名前 _____

得点

/16

- 問1 海の近くの土地は、どのような施設が集まって産業の拠点(中心)になることが多いでしょうか。
- 問2 地図上で、建物や場所の種類を一目でわかるようにした記号のことを何といいますか。
- 問3 図書館、消防署、市役所といった公共施設は、どのような場所に建てられることが多いですか。
- 問4 北を向いてまっすぐ立ったとき、右手の方向にあたるのはどの方角でしょうか。
- 問5 私たちが普段使っている地図では、上の方をどの方角として表すという約束がありますか。
- 問6 地域の人々が利用するために、市が運営している施設を何といいますか。
- 問7 地図で、北・南・東・西の4つの方向のことをまとめて何というでしょう。
- 問8 地図の上側が北になるように置いたとき、地図の右側が指している方位はどこでしょう。
- 問9 海の近くの平らな土地に、港や工場が多くつくられるのはなぜでしょうか。
- 問10 市が図書館や公民館などの公共施設をつくって運営している、一番の理由は何ですか。
- 問11 みんなが安全で快適に暮らすために、市や町などが作っている「図書館」や「消防署」のような施設のことを何といいますか。
- 問12 地図上で、北と東の間の方角を何と呼ぶでしょう。
- 問13 地図上で「開いた本」の形をしている地図記号は、何という施設を表していますか。
- 問14 地図を見るとき約束として、地図の上の方向はどの方角を指しているでしょう。
- 問15 地図の中で、その場所にある建物や施設の種類を一目でわかるように、簡単な形であらわしたものを何といいますか。
- 問16 地図にある「方位記号(ほういきごう)」は、何のために使われるでしょう。

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 港と工場	海に面した平らな場所は、船の出入りに便利な「港」をつくるのに最適です。また、その港で受け取った材料ですぐに製品をつくり、すぐに船で運べるように、港のすぐ隣に「工場」が建てられることが多くあります。
問2	答え 地図記号	地図記号は、建物や土地の様子などの種類を、地図の上の約束ごととして表したものです。これを知っていると、実際にその場所に行かなくても、地図を見るだけでどのような場所なのかをすぐに知ることができます。
問3	答え みんなが利用しやすい駅の近くや人の集まる場所	公共施設は多くの市民が生活を送る中で、必要な時にすぐ利用できるよう、アクセスの良い場所や人が集まりやすい場所に設置されています。
問4	答え 東	北を向いて立ったとき、自分の右側は東の方角になります。逆に左側は西、背中側は南にあたります。方位を知ること、自分がどちらに向かって歩いているかを確認することができます。
問5	答え 北	地図には、誰が見ても方角がわかるように「上を北にする」という共通の決まりがあります。このルールのおかげで、地図を使う人全員が同じ方向を北として読み取ることができます。
問6	答え 公共施設	公共施設は、市民みんなで利用するために市が運営している施設のことです。学校や図書館、公民館などが含まれ、市民みんなの大切な財産として、生活を支える役割を担っています。
問7	答え 四方位	北・南・東・西の4つの方向を「四方位（しほうい）」といいます。地図では、上が北、下が南、右が東、左が西になるのが基本です。
問8	答え 東	一般的な地図では、上が「北」となります。その場合、下は「南」、右は「東」、左は「西」と決まっています。この約束を知っておくと、地図を見たときにどの方向に何があるかを迷わずに読み取ることができます。
問9	答え 船を使って、材料や製品を運ぶのに便利だから	港があれば大きな船を接岸できるため、海外から材料を安くたくさん運んだり、完成した製品を遠くへ出荷したりするのにとても適しています。そのため、港のすぐ近くには、材料を使ってものづくりをする工場が集まることが一般的です。
問10	答え 市民がみんなを利用して、生活を豊かにするため	公共施設は、市民が健康に過ごしたり、知識を深めたり、地域の人たちと交流したりするために市がつくっています。これらは誰か一人の持ち物ではなく、市民みんなの財産として、私たちの生活を支えています。
問11	答え 公共施設	地域みんなが使うために作られた施設を公共施設といいます。図書館や消防署、市役所などは、住んでいる人全員が便利に利用できるように作られています。
問12	答え 北東	基本となる北・東・西・南の四つの方角だけでなく、その中間の方向を指す言葉もあります。北と東の間は「北東」、北と西の間は「北西」、南と東の間は「南東」、南と西の間は「南西」と呼びます。
問13	答え 図書館	図書館は本がたくさんある場所であることから、開いた本の形をした記号が使われています。このように、地図記号はその施設の特徴を表す形になっていることが多いです。
問14	答え 北	地図は、世界共通の約束として上側を「北」と決めています。北を上にする、右側が東、左側が西、下側が南というように、方位が分かりやすくなります。
問15	答え 地図記号	地図記号は、地図を読みやすくするために、学校や神社、田んぼなどの建物や土地の様子を短い記号であらわしたものです。これを使うことで、実際にその場所へ行かなくても、地図を見るだけでどんな施設があるのかを知ることができます。
問16	答え 東西南北（とうざいなんぼく）の向きをたしかめるため	方位記号は、地図の上がどちらの方角（基本は北）を指しているかを示す記号です。これを確認することで、地図の中での正しい東西南北の向きを知ることができます。

小3社会 地域の様子と地図の学習
(書き取り) No.3

月 日 名前 _____

得点

/16

- 問1 地図の中で、その場所にある建物や施設の種類の一目でわかるように、簡単な形であらわしたものを何といいますか。
- 問2 市が図書館や公民館などの公共施設をつくって運営している、一番の理由は何ですか。
- 問3 図書館、消防署、市役所といった公共施設は、どのような場所に建てられることが多いですか。
- 問4 地図の上で、建物や場所の種類を一目でわかるようにした記号のことを何といいますか。
- 問5 地図で、北・南・東・西の4つの方向のことをまとめて何というでしょう。
- 問6 地図上で「開いた本」の形をしている地図記号は、何という施設を表していますか。
- 問7 海の近くの平らな土地に、港や工場が多くつくられるのはなぜでしょうか。
- 問8 地図にある「方位記号（ほういきごう）」は、何のために使われるでしょう。
- 問9 地図の上側が北になるように置いたとき、地図の右側が指している方位はどこでしょう。
- 問10 地図を見るとき約束として、地図の上の方向はどの方角を指しているでしょう。
- 問11 海の近くの土地は、どのような施設が集まって産業の拠点（中心）になることが多いでしょう。
- 問12 私たちが普段使っている地図では、上の方をどの方角として表すという約束がありますか。
- 問13 地域の人々が利用するために、市が運営している施設を何といいますか。
- 問14 みんなが安全で快適に暮らすために、市や町などが作っている「図書館」や「消防署」のような施設のことを何といいますか。
- 問15 北を向いてまっすぐ立ったとき、右手の方向にあたるのはどの方角でしょう。
- 問16 地図上で、北と東の間の方角を何と呼ぶでしょう。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 地図記号	地図記号は、地図を読みやすくするために、学校や神社、田んぼなどの建物や土地の様子を短い記号であらわしたものです。これを使うことで、実際にその場所へ行かなくても、地図を見るだけでどんな施設があるのかを知ることができます。
問2	答え 市民がみんなで利用して、生活を豊かにするため	公共施設は、市民が健康に過ごしたり、知識を深めたり、地域の人たちと交流したりするために市がつくっています。これらは誰か一人の持ち物ではなく、市民みんなの財産として、私たちの生活を支えています。
問3	答え みんなが利用しやすい駅の近くや人の集まる場所	公共施設は多くの市民が生活を送る中で、必要な時にすぐ利用できるよう、アクセスの良い場所や人が集まりやすい場所に設置されています。
問4	答え 地図記号	地図記号は、建物や土地の様子などの種類を、地図の上の約束ごととして表したものです。これを知っていると、実際にその場所に行かなくても、地図を見るだけでどのような場所なのかをすぐに知ることができます。
問5	答え 四方位	北・南・東・西の4つの方向を「四方位（しほうい）」といいます。地図では、上が北、下が南、右が東、左が西になるのが基本です。
問6	答え 図書館	図書館は本がたくさんある場所であることから、開いた本の形をした記号が使われています。このように、地図記号はその施設の特徴を表す形になっていることが多いです。
問7	答え 船を使って、材料や製品を運ぶのに便利だから	港があれば大きな船を接岸できるため、海外から材料を安くたくさん運んだり、完成した製品を遠くへ出荷したりするのにとても適しています。そのため、港のすぐ近くには、材料を使ってものづくりをする工場が集まることが一般的です。
問8	答え 東西南北（とうざいなんぼく）の向きをたしかめるため	方位記号は、地図の上がどちらの方角（基本は北）を指しているかを示す記号です。これを確認することで、地図の中で正しい東西南北の向きを知ることができます。
問9	答え 東	一般的な地図では、上が「北」となります。その場合、下は「南」、右は「東」、左は「西」と決まっています。この約束を知っておくと、地図を見たときにどの方向に何があるかを迷わずに読み取ることができます。
問10	答え 北	地図は、世界共通の約束として上側を「北」と決めています。北を上にするると、右側が東、左側が西、下側が南というように、方位が分かりやすくなります。
問11	答え 港と工場	海に面した平らな場所は、船の出入りに便利な「港」をつくるのに最適です。また、その港で受け取った材料ですぐに製品をつくり、すぐに船で運べるように、港のすぐ隣に「工場」が建てられることが多くあります。
問12	答え 北	地図には、誰が見ても方角がわかるように「上を北にする」という共通の決まりがあります。このルールのおかげで、地図を使う人全員が同じ方向を北として読み取ることができます。
問13	答え 公共施設	公共施設は、市民みんなで利用するために市が運営している施設のことです。学校や図書館、公民館などが含まれ、市民みんなの大切な財産として、生活を支える役割を担っています。
問14	答え 公共施設	地域のみんが使うために作られた施設を公共施設といいます。図書館や消防署、市役所などは、住んでいる人全員が便利に利用できるように作られています。
問15	答え 東	北を向いて立ったとき、自分の右側は東の方角になります。逆に左側は西、背中側は南にあたります。方位を知ること、自分がどちらに向かって歩いているかを確認することができます。
問16	答え 北東	基本となる北・東・西・南の四つの方角だけでなく、その中間の方向を指す言葉もあります。北と東の間は「北東」、北と西の間は「北西」、南と東の間は「南東」、南と西の間は「南西」と呼びます。

問1 海の近くの土地は、どのような施設が集まって産業の拠点(中心)になることが多いでしょうか。

問2 地図を見るとき約束として、地図の上の方向はどの方角を指しているでしょうか。

問3 地図上で、北と東の間の方角を何と呼ぶでしょうか。

問4 地図の中で、その場所にある建物や施設の種類を一目でわかるように、簡単な形であらわしたものを何といいますか。

問5 地図にある「方位記号(ほういきごう)」は、何のために使われるでしょう。

問6 私たちが普段使っている地図では、上の方をどの方角として表すという約束がありますか。

問7 みんなが安全で快適に暮らすために、市や町などが作っている「図書館」や「消防署」のような施設のことを何といいますか。

問8 地図の上側が北になるように置いたとき、地図の右側が指している方位はどこでしょう。

問9 地域の人々が利用するために、市が運営している施設を何といいますか。

問10 北を向いてまっすぐ立ったとき、右手の方向にあたるのはどの方角でしょうか。

問11 地図で、北・南・東・西の4つの方向のことをまとめて何というでしょう。

問12 市が図書館や公民館などの公共施設をつくって運営している、一番の理由は何ですか。

問13 地図の上で、建物や場所の種類を一目でわかるようにした記号のことを何といいますか。

問14 図書館、消防署、市役所といった公共施設は、どのような場所に建てられることが多いですか。

問15 海の近くの平らな土地に、港や工場が多くつくられるのはなぜでしょうか。

問16 地図上で「開いた本」の形をしている地図記号は、何という施設を表していますか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 港と工場	海に面した平らな場所は、船の出入りに便利な「港」をつくるのに最適です。また、その港で受け取った材料ですぐに製品をつくり、すぐに船で運べるように、港のすぐ隣に「工場」が建てられることが多くあります。
問2	答え 北	地図は、世界共通の約束として上側を「北」と決めています。北を上にすると、右側が東、左側が西、下側が南というように、方位が分かりやすくなります。
問3	答え 北東	基本となる北・東・西・南の四つの方角だけでなく、その中間の方向を指す言葉もあります。北と東の間は「北東」、北と西の間は「北西」、南と東の間は「南東」、南と西の間は「南西」と呼びます。
問4	答え 地図記号	地図記号は、地図を読みやすくするために、学校や神社、田んぼなどの建物や土地の様子を短い記号であらわしたものです。これを使うことで、実際にその場所へ行かなくても、地図を見るだけでどんな施設があるのかを知ることができます。
問5	答え 東西南北（とうざいなんぼく）の向きをたしかめるため	方位記号は、地図の上がどちらの方角（基本は北）を指しているかを示す記号です。これを確認することで、地図の中で正しい東西南北の向きを知ることができます。
問6	答え 北	地図には、誰が見ても方角がわかるように「上を北にする」という共通の決まりがあります。このルールのおかげで、地図を使う人全員が同じ方向を北として読み取ることができます。
問7	答え 公共施設	地域のみんが使うために作られた施設を公共施設といいます。図書館や消防署、市役所などは、住んでいる人全員が便利に利用できるように作られています。
問8	答え 東	一般的な地図では、上が「北」となります。その場合、下は「南」、右は「東」、左は「西」と決まっています。この約束を知っておくと、地図を見たときにどの方向に何があるかを迷わずに読み取ることができます。
問9	答え 公共施設	公共施設は、市民みんなで利用するために市が運営している施設のことです。学校や図書館、公民館などが含まれ、市民みんなの大切な財産として、生活を支える役割を担っています。
問10	答え 東	北を向いて立ったとき、自分の右側は東の方角になります。逆に左側は西、背中側は南にあたります。方位を知ること、自分がどちらに向かって歩いているかを確認することができます。
問11	答え 四方位	北・南・東・西の4つの方向を「四方位（しほうい）」といいます。地図では、上が北、下が南、右が東、左が西になるのが基本です。
問12	答え 市民がみんなで利用して、生活を豊かにするため	公共施設は、市民が健康に過ごしたり、知識を深めたり、地域の人たちと交流したりするために市がつくっています。これらは誰か一人の持ち物ではなく、市民みんなの財産として、私たちの生活を支えています。
問13	答え 地図記号	地図記号は、建物や土地の様子などの種類を、地図の上の約束ごととして表したものです。これを知っていると、実際にその場所に行かなくても、地図を見るだけでどのような場所なのかをすぐに知ることができます。
問14	答え みんなが利用しやすい駅の近くや人の集まる場所	公共施設は多くの市民が生活を送る中で、必要な時にすぐ利用できるよう、アクセスの良い場所や人が集まりやすい場所に設置されています。
問15	答え 船を使って、材料や製品を運ぶのに便利だから	港があれば大きな船を接岸できるため、海外から材料を安くたくさん運んだり、完成した製品を遠くへ出荷したりするのにとても適しています。そのため、港のすぐ近くには、材料を使ってものづくりをする工場が集まるのが一般的です。
問16	答え 図書館	図書館は本がたくさんある場所であることから、開いた本の形をした記号が使われています。このように、地図記号はその施設の特徴を表す形になっていることが多いです。

問1 地図の中で、その場所にある建物や施設の種類の一目でわかるように、簡単な形であらわしたものを何と
いますか。

問2 北を向いてまっすぐ立ったとき、右手の方向にあたるのはどの方角でしょうか。

問3 地図で、北・南・東・西の4つの方向のことをまとめて何というでしょう。

問4 地図の上側が北になるように置いたとき、地図の右側が指している方位はどこでしょう。

問5 地図上で「開いた本」の形をしている地図記号は、何という施設を表していますか。

問6 地図上で、北と東の間の方角を何と呼ぶでしょう。

問7 地図を見るとき約束として、地図の上の方向はどの方角を指しているでしょう。

問8 市が図書館や公民館などの公共施設をつくって運営している、一番の理由は何ですか。

問9 地図にある「方位記号（ほういきごう）」は、何のために使われるでしょう。

問10 海の近くの土地は、どのような施設が集まって産業の拠点（中心）になることが多いでしょう。

問11 地域の人々が利用するために、市が運営している施設を何といますか。

問12 私たちが普段使っている地図では、上の方をどの方角として表すという約束がありますか。

問13 地図の上で、建物や場所の種類を一目でわかるようにした記号のことを何といますか。

問14 みんなが安全で快適に暮らすために、市や町などが作っている「図書館」や「消防署」のような施設のことを
何といますか。

問15 図書館、消防署、市役所といった公共施設は、どのような場所に建てられることが多いですか。

問16 海の近くの平らな土地に、港や工場が多くつくられるのはなぜでしょう。

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 地図記号	地図記号は、地図を読みやすくするために、学校や神社、田んぼなどの建物や土地の様子を短い記号であらわしたものです。これを使うことで、実際にその場所へ行かなくても、地図を見るだけでどんな施設があるのかを知ることができます。
問2	答え 東	北を向いて立ったとき、自分の右側は東の方角になります。逆に左側は西、背中側は南にあたります。方位を知ること、自分がどちらに向かって歩いているかを確認することができます。
問3	答え 四方位	北・南・東・西の4つの方向を「四方位（しほうい）」といいます。地図では、上が北、下が南、右が東、左が西になるのが基本です。
問4	答え 東	一般的な地図では、上が「北」となります。その場合、下は「南」、右は「東」、左は「西」と決まっています。この約束を知っておくと、地図を見たときにどの方向に何があるかを迷わずに読み取ることができます。
問5	答え 図書館	図書館は本がたくさんある場所であることから、開いた本の形をした記号が使われています。このように、地図記号はその施設の特徴を表す形になっていることが多いです。
問6	答え 北東	基本となる北・東・西・南の四つの方角だけでなく、その中間の方向を指す言葉もあります。北と東の間は「北東」、北と西の間は「北西」、南と東の間は「南東」、南と西の間は「南西」と呼びます。
問7	答え 北	地図は、世界共通の約束として上側を「北」と決めています。北を上にする、右側が東、左側が西、下側が南というように、方位が分かりやすくなります。
問8	答え 市民がみんなで利用して、生活を豊かにするため	公共施設は、市民が健康に過ごしたり、知識を深めたり、地域の人たちと交流したりするために市がつくっています。これらは誰か一人の持ち物ではなく、市民みんなの財産として、私たちの生活を支えています。
問9	答え 東西南北（とうざいなんぼく）の向きをたしかめるため	方位記号は、地図の上がどちらの方角（基本は北）を指しているかを示す記号です。これを確認することで、地図の中での正しい東西南北の向きを知ることができます。
問10	答え 港と工場	海に面した平らな場所は、船の出入りに便利な「港」をつくるのに最適です。また、その港で受け取った材料ですぐに製品をつくり、すぐに船で運べるように、港のすぐ隣に「工場」が建てられることが多くあります。
問11	答え 公共施設	公共施設は、市民みんなで利用するために市が運営している施設のことです。学校や図書館、公民館などが含まれ、市民みんなの大切な財産として、生活を支える役割を担っています。
問12	答え 北	地図には、誰が見ても方角がわかるように「上を北にする」という共通の決まりがあります。このルールのおかげで、地図を使う人全員が同じ方向を北として読み取ることができます。
問13	答え 地図記号	地図記号は、建物や土地の様子などの種類を、地図の上の約束ごととして表したものです。これを知っていると、実際にその場所に行かなくても、地図を見るだけでどのような場所なのかをすぐに知ることができます。
問14	答え 公共施設	地域みんなが使うために作られた施設を公共施設といいます。図書館や消防署、市役所などは、住んでいる人全員が便利に利用できるように作られています。
問15	答え みんなが利用しやすい駅の近くや人の集まる場所	公共施設は多くの市民が生活を送る中で、必要な時にすぐ利用できるよう、アクセスの良い場所や人が集まりやすい場所に設置されています。
問16	答え 船を使って、材料や製品を運ぶのに便利だから	港があれば大きな船を接岸できるため、海外から材料を安くたくさん運んだり、完成した製品を遠くへ出荷したりするのにとても適しています。そのため、港のすぐ近くには、材料を使ってものづくりをする工場が集まることが一般的です。